B7FY-2741-01 Z0

PRIMERGY

SX10 S2 バックアップキャビネット（PG-R2BC1）

取扱説明書

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくための注意事項や、本書の表記について説明しています。
必ずお読みください。

第 1 章　名称と働き

この章では、本製品の各部の名称と働きについて説明しています。

第 2 章　内蔵オプションの取り付け

この章では、内蔵オプションの取り付けについて説明しています。

第 3 章　ラックへの搭載

この章では、本製品をラックに搭載する方法について説明しています。

第 4 章　ケーブルの接続

この章では、本製品のケーブルの接続について説明しています。

付録

本製品におけるトラブルシューティングと仕様について説明しています。

本書をお読みになる前に

安全にお使いいただくために

本書には、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。
本製品をお使いになる前に、本書を熟読してください。特に、本書の「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また本書は、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

電波障害対策について

この装置は、クラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A

ハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療器具、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではございません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

外国為替及び外国貿易法に基づく特定技術について

当社のドキュメントには「外国為替及び外国貿易法」に基づく特定技術が含まれていることがあります。特定技術が含まれている場合は、当該ドキュメントを輸出または非居住者に提供するとき、同法に基づく許可が必要となります。

本書の内容について

このたびは、弊社の PRIMERGY SX10 S2 バックアップキャビネット（PG-R2BC1）（以降、本製品）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本書は、本製品の取り扱いの基本的なことがらについて説明しています。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いいたします。

本書の表記

■ 警告表示

本書ではいろいろな絵表示を使っています。これは本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するための目印となるものです。表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上、お読みください。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

また、危害や損害の内容がどのようなものかを示すために、上記の絵表示と同時に次の記号を使用しています。

⚠	△で示した記号は、警告・注意を促す内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。
🛇	🛇で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。
❗	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。

■ 本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
POINT	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
（→ P.nn）	参照先のページを示しています。クリックすると該当ページへ移動します。

■ 製品の呼び方

本文中の製品名称を次のように略して表記します。

製品名称	本文中の表記
PRIMERGY SX10 S2 バックアップキャビネット（PG-R2BC1）	本製品

安全上のご注意

本製品を安全にお使いいただくために、以降の記述内容を必ずお守りください。

■ 万一、異常が発生したとき

⚠警告

- 万一、本製品から発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに本製品の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が消えるのを確認して、修理相談窓口に連絡してください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。
- 異物（水・金属片・液体など）が本製品内部に入った場合は、ただちに本製品の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、修理相談窓口に連絡してください。
  そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

感　電

- 異物（水・金属片・液体など）が本製品の内部に入った場合は、すぐにサーバ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから取り外してください。その後、修理相談窓口にご連絡ください。
  そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。

■ 本製品の取り扱いについて

⚠警告

- 本製品を勝手に改造しないでください。火災・感電の原因となります。
- 本製品のカバーは、オプション装置の取り付けなど、必要な場合を除いて取り外さないでください。
  内部の点検、修理は修理相談窓口に連絡してください。内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となります。

- 開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすい物などの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 本製品の上または近くに「花びん・植木鉢・コップ」などの水が入った容器、金属物を置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。故障・火災・感電の原因となります。

感　電

- 本体に水をかけないでください。故障・火災・感電の原因となります。
- 風呂場、シャワー室などの水場で使用しないでください。
  故障・火災・感電の原因となります。

- 近くで雷が発生したときは、電源ケーブルやモジュラーケーブルをコンセントから抜いてください。そのまま使用すると、雷によっては本製品を破壊し、火災の原因となります。

⚠警告

- 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。また、タコ足配線をしないでください。火災・感電の原因となります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となります。
- 電源ケーブルを傷付けたり、加工したりしないでください。重い物を載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると電源ケーブルを傷め、火災・感電の原因となります。
- 電源ケーブルや電源プラグが痛んだとき、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 電源プラグの電極、およびコンセントの差し込み口にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。そのまま使用すると、火災の原因となります。

- 取り外したカバー、キャップ、ネジなどは、小さなお子様が誤って飲むことがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師と相談してください。

⚠注意

- 本製品の開口部（通風孔など）をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
- 本製品の上に重い物を置かないでください。また、衝撃を与えないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下したりしてけがの原因となります。
- 振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。
- 電源プラグを抜くときは電源ケーブルを引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。電源ケーブルを引っ張ると、電源ケーブルの芯線が露出したり断線したりして、火災・感電の原因となります。
- 携帯電話などを本体に近づけて使用しないでください。本製品が正しく動かなくなります。

- 電源プラグは、コンセントの奥まで確実に差し込んでください。火災・故障の原因となります。

- 本製品を移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、電源ケーブルなども外してください。作業は足元に十分注意して行ってください。電源ケーブルが傷付き、火災・感電の原因となったり、本製品が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
- 長時間装置を使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災・感電の原因となります。

■ オプションの取り扱いについて

⚠警告

感 電

- オプション装置の取り付けや取り外しを行う場合は、本製品および接続されている装置の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。故障・火災・感電の原因となります。

- 弊社推奨品以外の装置は接続しないでください。故障・火災・感電の原因となります。

■ リサイクルについて

本製品を廃棄する場合、担当営業員に相談してください。本製品は産業廃棄物として処理する必要があります。

梱包物の確認

お使いになる前に、次のものが梱包されていることをお確かめください。
万一足りないものがございましたら、担当営業員にご連絡ください。

- PRIMERGY SX10 S2 バックアップキャビネット　1 台（本製品）
- 電源ケーブル　1 本
- 取り付け金具　一式

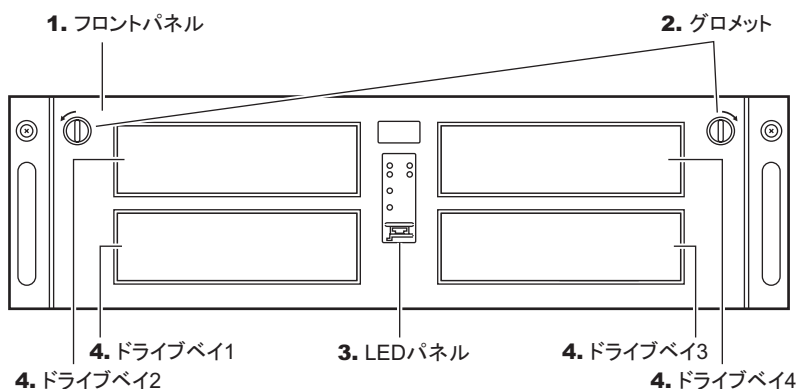
目次

1

第 1 章

名称と働き

この章では、本製品の各部の名称と働きについて説明しています。

1.1 本製品前面

1 フロントパネル

バックアップユニットを取り付け／取り外しするときに外します。

2 グロメット

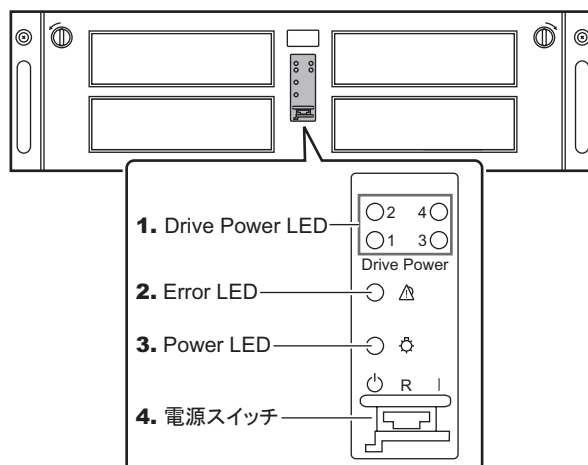
フロントパネルを開閉するときに使用します。

3 LED パネル

本製品の状態を表示します。
詳細については、「1.1.1 LED パネル」（→ P.10）を参照してください。

4 ドライブベイ 1 ～ 4

バックアップユニットを 4 台まで取り付けできます。

1.1.1 LED パネル

1 Drive Power LED

本製品に取り付けたドライブの電源状態（入／切）を示します。

LED の状態	説明
点灯（緑）	ドライブの電源が入っている状態です。
消灯	ドライブの電源が切れている状態です。

2 Error LED

本製品内部に異常があるかを示します。

LED の状態	説明
消灯	正常です。
点灯（オレンジ）	温度値に異常があります。
点滅（オレンジ）：速（1 秒間隔）	電源ファンに異常があります。
点滅（オレンジ）：遅（2 秒間隔）	システムファンに異常があります。

3 Power LED

本製品の電源状態（入／切）を示します。

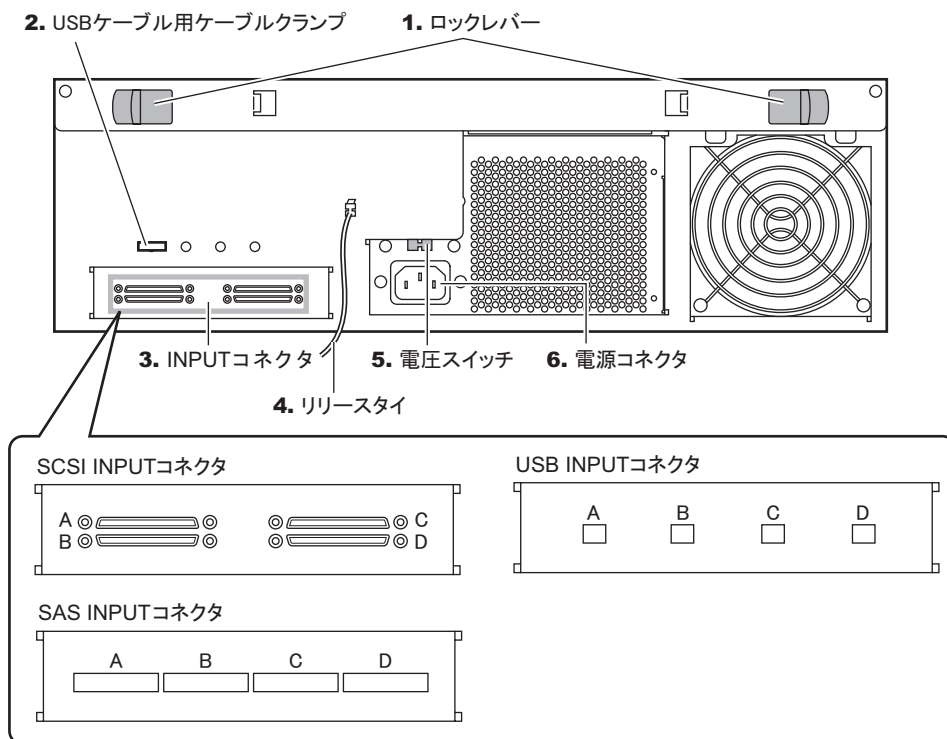
LED の状態	説明
消灯	本製品の電源が切れている状態です。
点灯（オレンジ）	待機モードです。
点灯（緑）	本製品の電源が入っている状態です。
点滅（緑）	サーバ連動設定の待機中です。

4 電源スイッチ

電源スイッチの状態	説明
｜	常時、本製品の電源が入っています。
R	サーバ本体と連動してドライブの電源を入／切します。 （標準設定）(注)
⏻	常時、本製品は待機モードです。

注）本製品は、サーバ本体の電源が入ると、自動で電源が入ります。通常、電源スイッチは「R」に設定しておいてください。

SAS 用バックアップユニット搭載時は、サーバ本体の OS 起動時にバックアップユニットの電源が入ります。また、再起動時は、バックアップユニットの電源がいったん切れます。

1.2 本製品背面

1 ロックレバー

トップカバーを取り外すときに、スライドします。

2 USB ケーブル用ケーブルクランプ

外付け接続用 USB ケーブルに添付されています。

3 INPUT コネクタ

SCSI/SAS/USB ケーブルを使ってサーバ本体と接続します。

4 リリースタイ

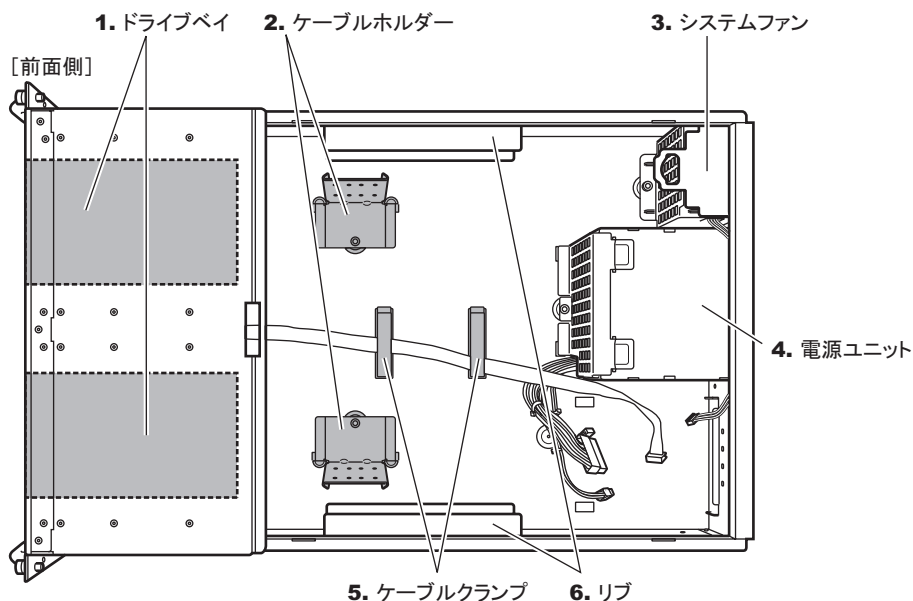
電源ケーブルが抜け落ちることを防止するためにリリースタイで固定します。

5 電圧スイッチ（115V/230V）

国内／国外での使用によって、設定電圧が異なります。
国内使用時（AC100V）は、115V に設定されています。

6 電源コネクタ

電源ケーブルを接続します。

1.3 本製品内部

1 ドライブベイ

バックアップユニットを 4 台まで取り付けできます。

2 ケーブルホルダー

ケーブルキットどうしが交わらないように向きを固定します。
ドライブベイ番号に応じて、使用する穴が異なります。

3 システムファン

本製品内部の温度が上がりすぎないように熱を排出し、部品を冷却するための送風装置です。

4 電源ユニット

本製品に電源を供給します。

5 ケーブルクランプ

ケーブル類が混線しないように束ねて固定します。

6 リブ

ケーブルキットが煩雑にならないように置く台です。

第 2 章

内蔵オプションの取り付け

2

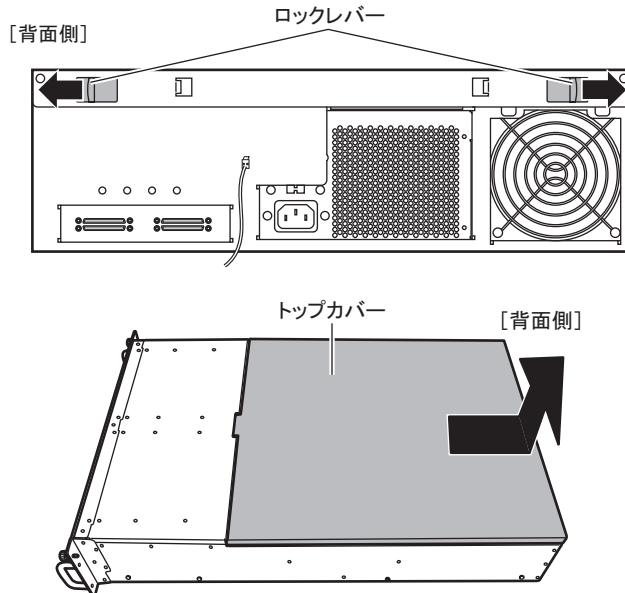
この章では、内蔵オプションの取り付けについて説明しています。

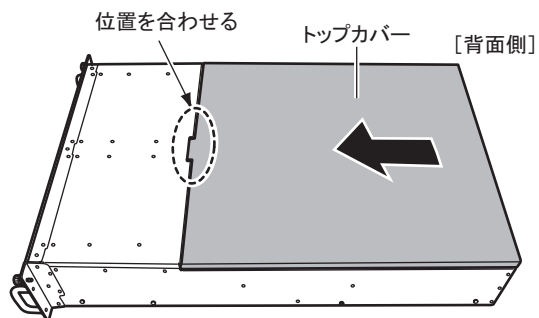
2.1 トップカバーの取り付け／取り外し

I/O モジュールやケーブルキットを取り付けるときは、トップカバーを取り外して行います。トップカバーの取り外し／取り付け方法は次のとおりです。

2.1.1 トップカバーの取り外し

1 本製品と、本製品に接続されている、すべてのサーバ本体の電源を切り、コンセントから電源ケーブルを抜きます。

2 背面のロックレバーを左右にスライドしながら、トップカバーを背面方向にスライドして持ち上げ、本製品から取り外します。

2.1.2 トップカバーの取り付け

トップカバーの取り付けは、はめ込み位置を合わせてから取り付けてください。
取り付け後、トップカバーはロックされます。

2.2 I/O モジュールの取り付け

I/O モジュールの取り付けについて説明します。

2.2.1 使用できる I/O モジュール

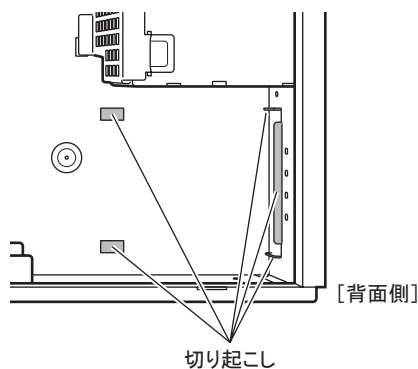
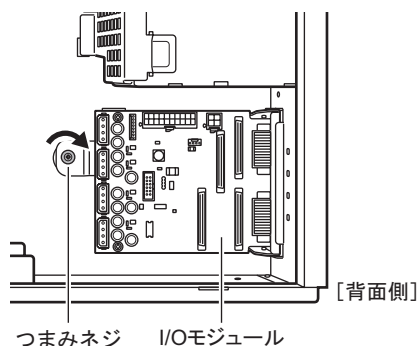
品名	型名	備考
I/O モジュール	PGBIMS01	SCSI 専用
	PGBIMA01	SAS 専用
	PGBIMU01	USB 専用

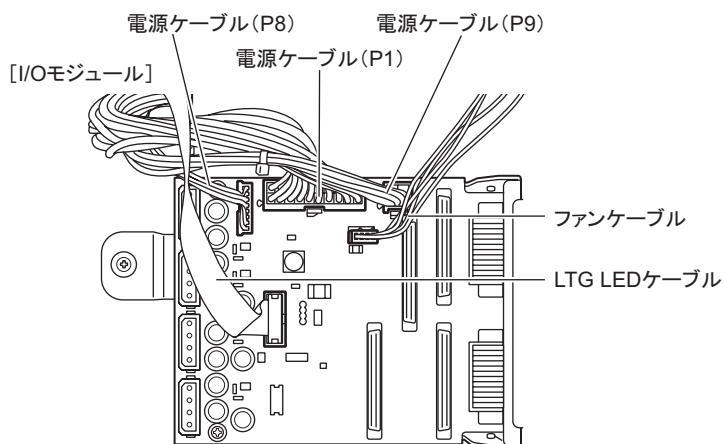
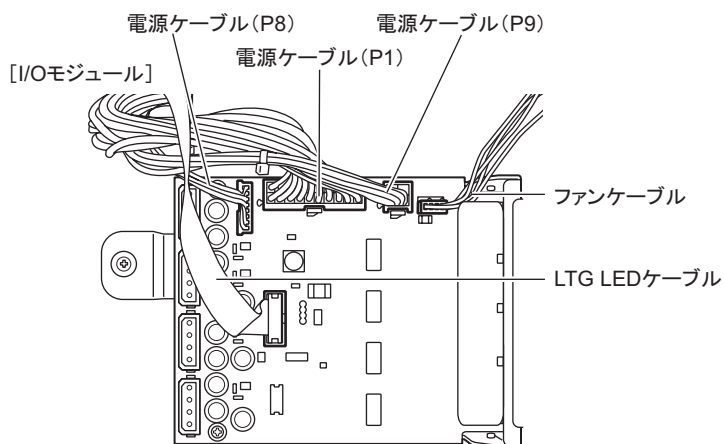
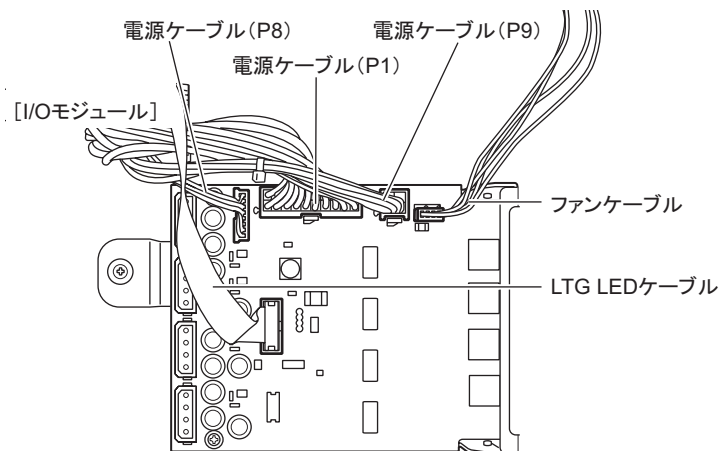
2.2.2 I/O モジュールの取り付け手順

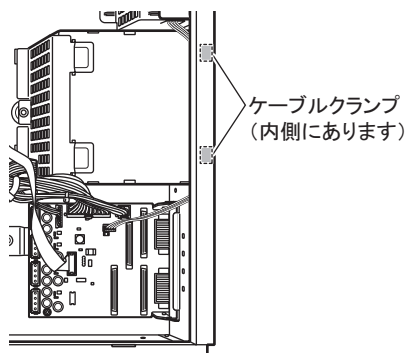
ここでは、SCSI 用の I/O モジュールの取り付け手順を例に説明します。

1 本製品の電源を切り、電源ケーブルを抜いてからトップカバーを取り外します。
「2.1 トップカバーの取り付け／取り外し」（→ P.15）

2 本製品の金属部分に触れて、人体の静電気を放電します。

3 取り付け位置の切り起こし箇所に I/O モジュールを取り付けます。

4 I/O モジュールのつまみネジを締めて固定します。

5 電源ケーブル（P1、P8、P9）、ファンケーブル、LTG LED ケーブルを接続します。

▶SCSI 用 I/O モジュールの場合

▶SAS 用 I/O モジュールの場合

▶USB 用 I/O モジュールの場合

重要

- ファンケーブルはケーブルクランプから外さずに接続してください。
  万一、ケーブルクランプから外れた場合は、ファンケーブルをはめ込んでから接続してください。

2.3 ケーブルキットの取り付け

本製品は、専用のケーブルキットを 4 本まで取り付け可能で、最大 4 チャネルの同時使用が可能となります。

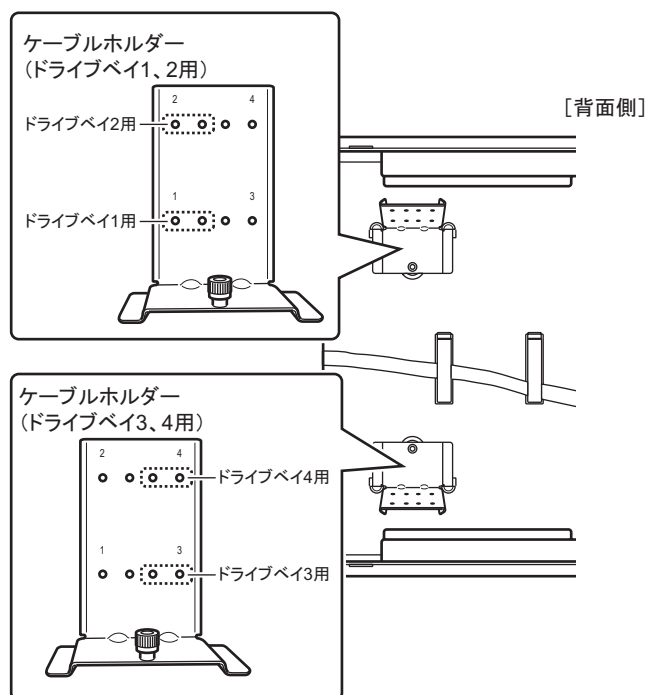
POINT

- 本製品とサーバ本体を接続するには、サーバ本体用 SCSI/SAS/USB ケーブルが別途必要です。

2.3.1 使用できるケーブルキット

品名	型名	備考
SCSI ケーブルキット	PG-CBLS032/PGBCBLS032	1 対 1 接続用 添付品 ・ネジ（ケーブルホルダー取り付け用） ・タグラベル ・タイラップ
	PG-CBLS033/PGBCBLS033	デイジーチェーン接続用 添付品 ・ネジ（ケーブルホルダー取り付け用） ・タグラベル ・タイラップ
SAS ケーブルキット	PG-CBLA007/PGBCBLA007	1 対 1 接続用（内蔵バックアップユニット　PG-LT401 シリーズ用） 添付品 ・ネジ（ケーブルホルダー取り付け用） ・タグラベル
	PG-CBLA012/PGBCBLA012	内蔵 LTO3 ユニット接続用（上記以外の内蔵バックアップユニット用） 添付品 ・ネジ（ケーブルホルダー取り付け用） ・タグラベル
USB ケーブルキット	PG-CBLU006/PGBCBLU006	1 対 1 接続用 添付品 ・ネジ（ケーブルホルダー取り付け用） ・タグラベル

2.3.2 ケーブルキットの取り付け位置

ケーブルキットはケーブルホルダーに取り付けます。ケーブルホルダーには、ドライブベイ番号が刻印されています。バックアップユニットを取り付けるドライブベイ 1 から順にケーブルキットを取り付けてください。

2.3.3 ケーブルキットの取り付け手順

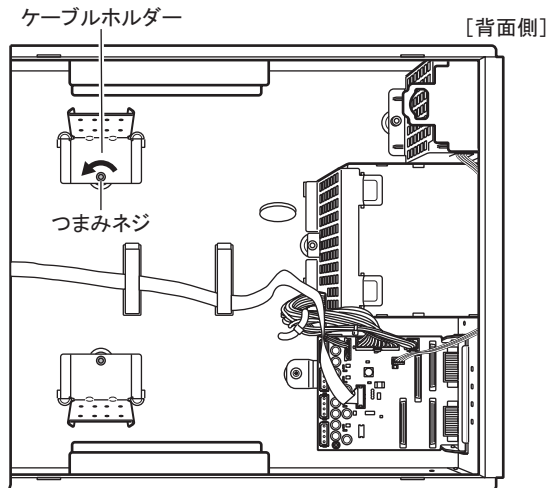
ここでは、ドライブベイ 1 に接続する場合を例に説明します。

1 本製品の電源を切り、電源ケーブルを抜いてからトップカバーを取り外します。

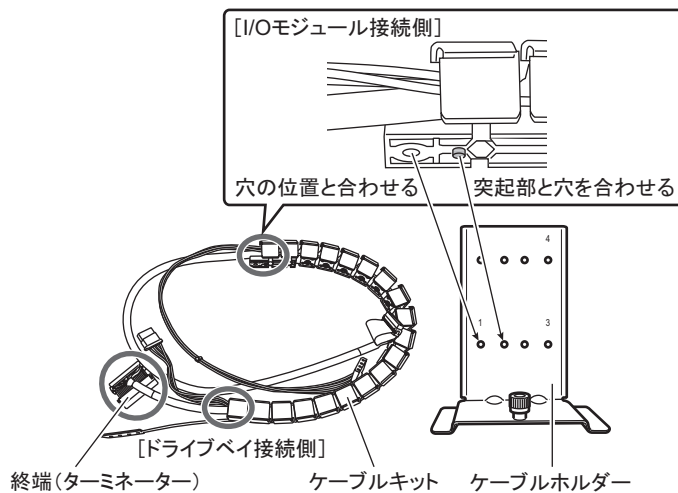
「2.1 トップカバーの取り付け／取り外し」（→ P.15）

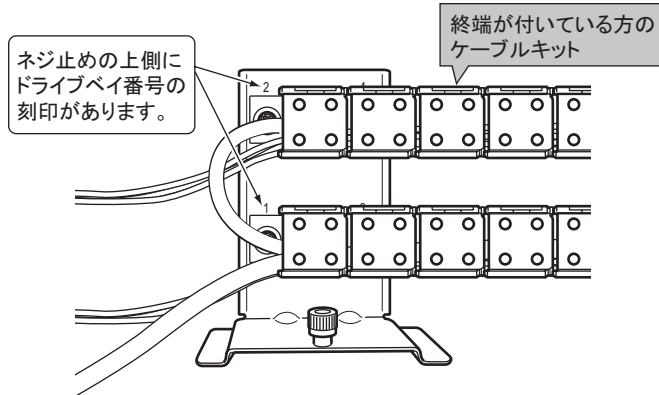
2 本製品の金属部分に触れて、人体の静電気を放電します。

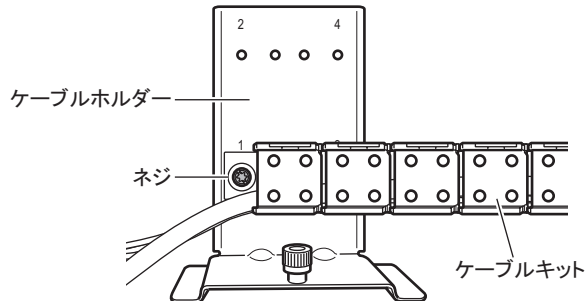
3 ケーブルホルダーのつまみネジをゆるめて、本製品からケーブルホルダーを取り外します。

下図は、SCSI ケーブルキットを接続する場合を示しています。

4 ケーブルホルダーの図に示す穴にケーブルキットの突起部を合わせます。

下図は、SCSI ケーブルキットを接続する場合を示しています。

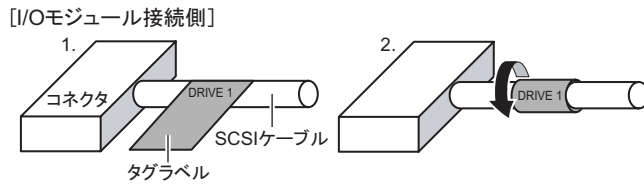
重要

- デイジーチェーン接続用 SCSI ケーブルキット（PG-CBLS033/PGBCBLS033）接続時は、終端が次の位置になるように合わせてください。
  - ・ドライブベイ 1、2 に接続する場合：刻印「2」（上部）
  - ・ドライブベイ 3、4 に接続する場合：刻印「4」（上部）

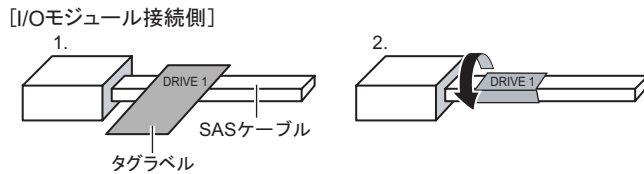
接続例）ドライブベイ1，2に接続する場合
　刻印「2」側に終端が付いている方のケーブルキットを取り付けてください。

5 ケーブルホルダーの刻印「1」に、ケーブルキットをネジで固定します。

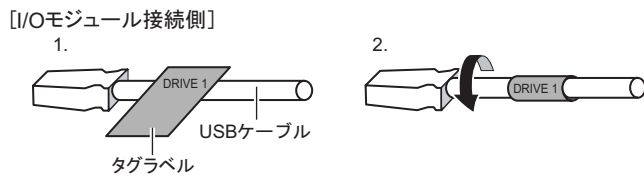
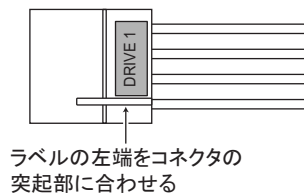
ケーブルキットに添付のネジを使用してください。

6 ケーブルキットの SCSI/SAS/USB ケーブルと電源ケーブルのコネクタに、タグラベルを貼ります。

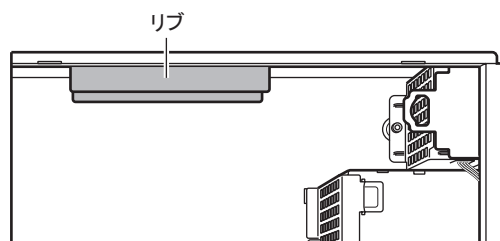
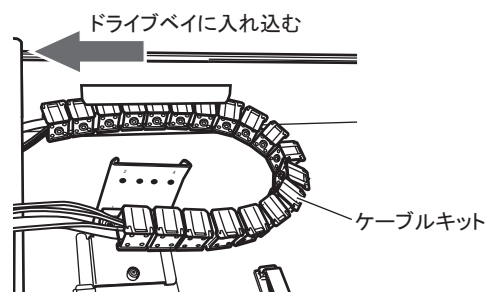
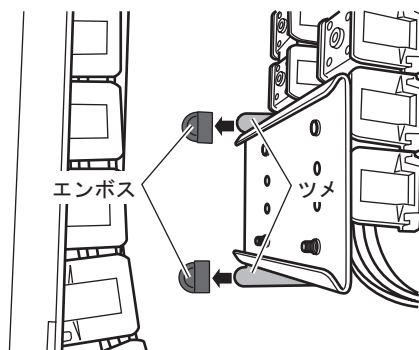
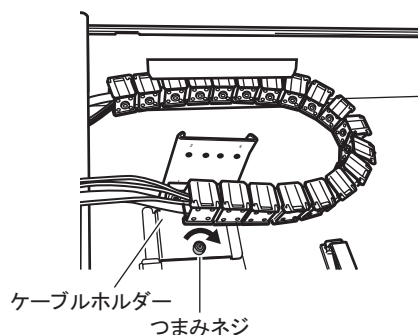
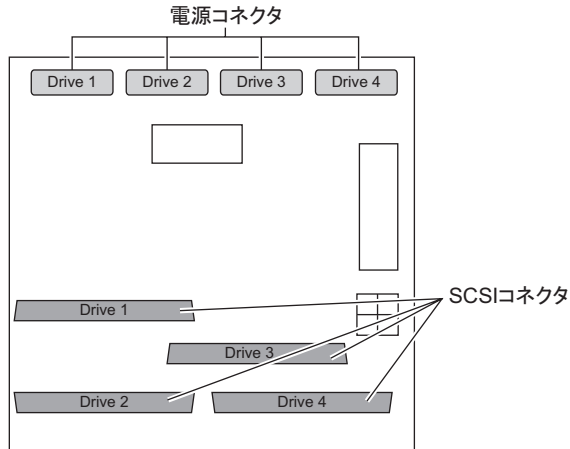
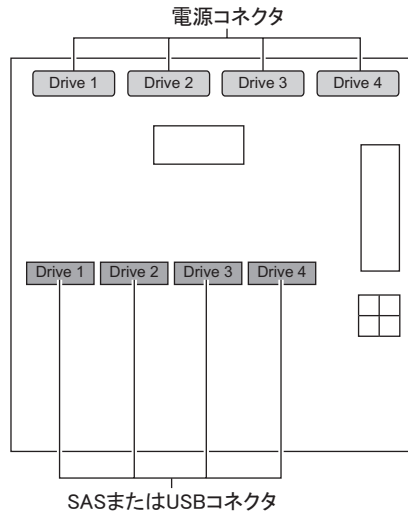
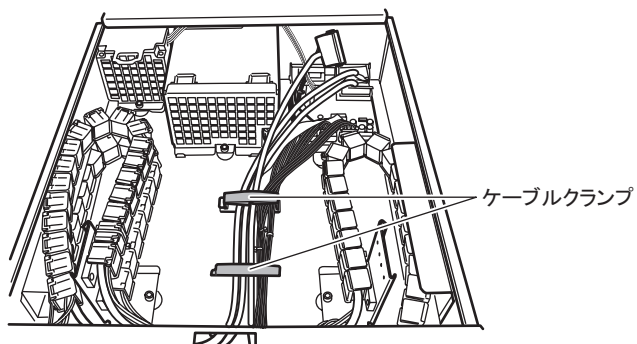
タグラベルはケーブルキットに添付されています。
使用するドライブベイ番号のタグラベルを貼ってください。

▶SCSI ケーブルへの貼り付け方

SCSI ケーブルの I/O モジュール接続側の位置に、ドライブ名が見えるように巻きつけてください。

▶SAS ケーブルへの貼り付け方

SAS ケーブルの I/O モジュール接続側のコネクタから 5mm 離れた位置に、ドライブ名が見えるように巻きつけてください。

▶USB ケーブルへの貼り付け方

USB ケーブルの I/O モジュール接続側のコネクタから 5mm 離れた位置に、ドライブ名が見えるように巻きつけてください。

▶電源ケーブルのコネクタへの貼り付け方

7 ケーブルキットを本製品のリブに置きます。

ドライブベイ 1、3 はリブの下段に、ドライブベイ 2、4 はリブの上段に置いてください。

8 ドライブベイ側のケーブルをドライブベイに入れ込みます。

9 ケーブルホルダーのツメを本製品の取り付け場所のエンボス部に挿入します。

10 つまみネジを締めてケーブルホルダーを固定します。

11 ケーブル類を接続します。

- デイジーチェーン接続用 SCSI ケーブルキット（PG-CBLS033/PGBCBLS033）接続時、ドライブベイ 1、2 側搭載時は SCSI コネクタの Drive2 へ接続し、ドライブベイ 3、4 側搭載時は SCSI コネクタの Drive4 へ接続してください。

12 ケーブルクランプを使用してケーブル類を束ねます。

2.4 バックアップユニットの取り付け

バックアップユニットの取り付けについて説明します。

2.4.1 使用できるバックアップユニットと搭載順

異なるデバイスを搭載する場合は、以下の優先順で搭載すること。

■ SCSI I/O モジュール

品名	型名	優先度	占有ベイ
内蔵 LTO2 ユニット	PG-LT201 / PGBLT201	1	1 ベイ
内蔵 LTO ユニット	PG-LT102 / PGBLT102	2	
内蔵 LTO2 ユニット	PG-LT202 / PGBLT202	3	
内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT501 / PGBDT501	4	
内蔵 LTO3 ユニット	PG-LT302 / PGBLT302 （注）	5	

注：内蔵 LTO3 ユニットは、SCSI バス上に 1 対 1 で接続し、デイジーチェーン接続はしないでください。

■ SAS I/O モジュール

品名	型名	優先度	占有ベイ
内蔵 LTO4 ユニット	PG-LT401 / PGBLT401	1	1 ベイ
内蔵 LTO3 ユニット	PG-LT303 / PGBLT303	2	

■ USB I/O モジュール

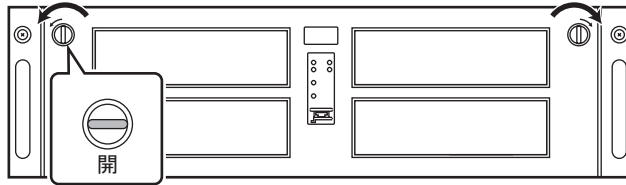
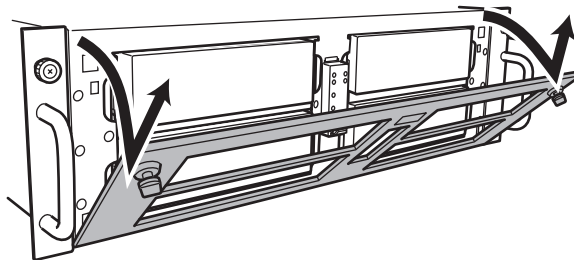
品名	型名	優先度	占有ベイ
内蔵 DAT72 ユニット	PG-DT504 / PGBDT504	1	1 ベイ
内蔵 RDX ユニット	PG-RD1021 / PGBRD1021	2	

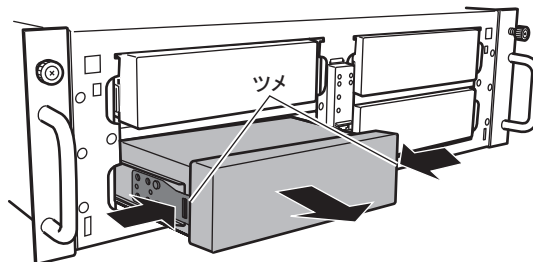
2.4.2 バックアップユニットの取り付け手順

バックアップユニットの取り付け方法は次のとおりです。ここでは、ドライブベイ 1 に取り付ける手順を説明します。

1 本製品の電源を切り、電源ケーブルを抜いてからトップカバーを取り外します。
「2.1 トップカバーの取り付け／取り外し」（→ P.15）

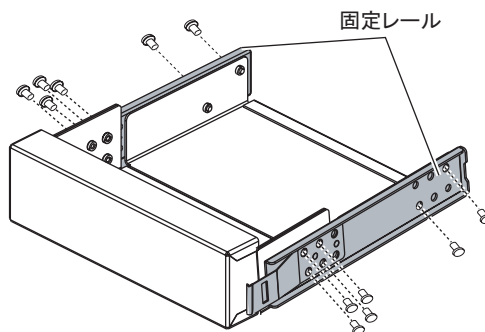
2 フロントパネルのグロメット（2 箇所）を図の方向に回します。

フロントパネルのロックが解除されます。

3 フロントパネルを手前に引き、持ち上げて外します。

4 ダミーユニットを取り外します。

ドライブベイ固定レール（2 箇所）の両側のツメを内側に押しながら、ゆっくり手前に引いて取り外します。

POINT

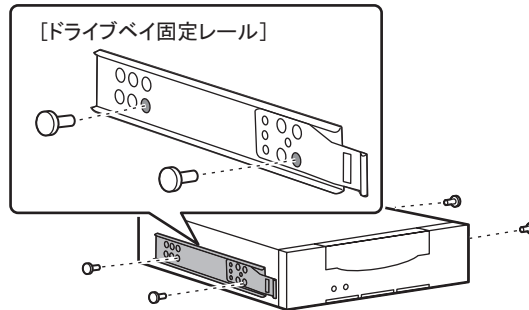
- 取り出したダミーユニットは大切に保管しておいてください。

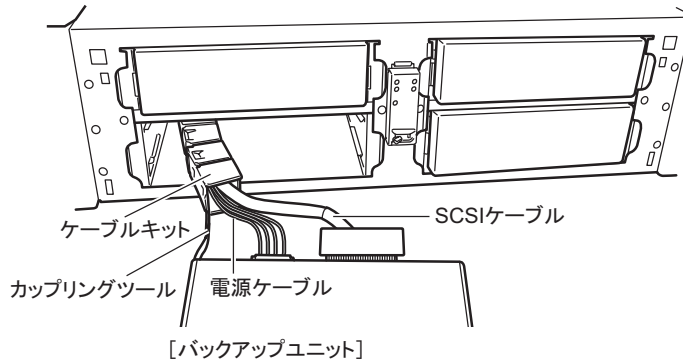
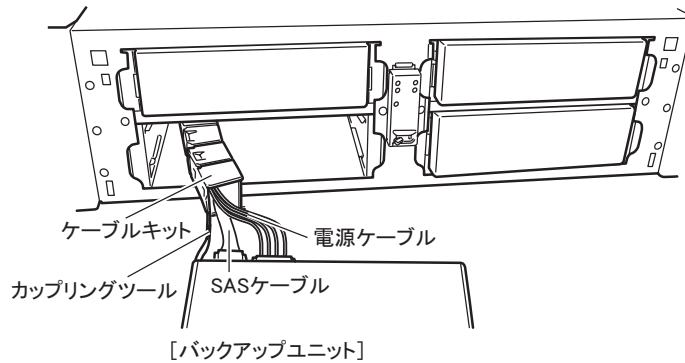
5 取り外したダミーユニットから固定レールを取り外します。

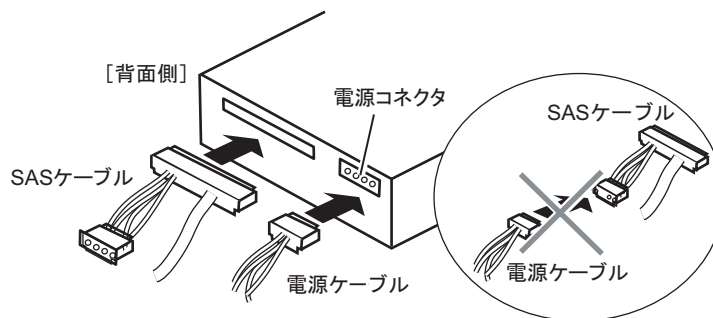
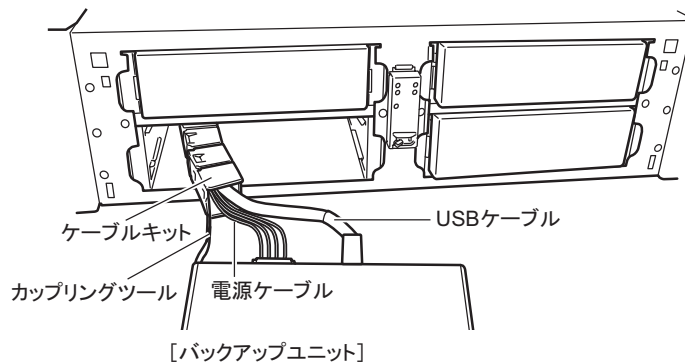
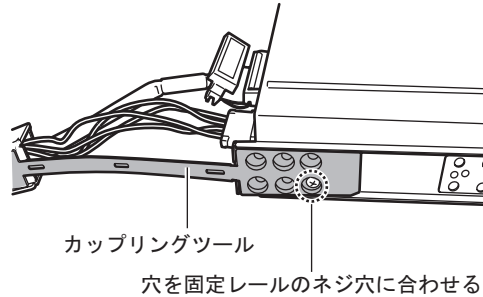
12 本のネジを取り外して、ドライブベイ固定レールを取り外します。

POINT

- 前面側のネジ（左右合わせて 4 本）を手順 6 の取り付けで使用します。

6 接続するバックアップユニットに取り外したドライブベイ固定レールを取り付けます。

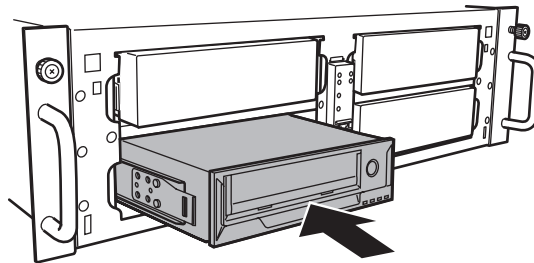
接続するバックアップユニットにネジが添付されている場合は、添付されているネジを使います。バックアップユニットによってワッシャーが必要な場合があります。
ネジが添付されていない場合は、手順 5 で取り外したネジのうち 4 本を使用して取り付けます。

7 ドライブベイからケーブルキットを引き出し、SCSI/SAS/USB ケーブル、電源ケーブルをバックアップユニットに接続します。

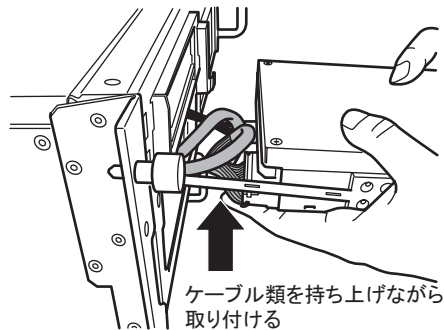
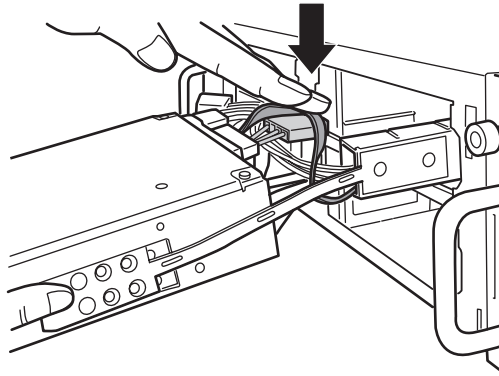
▶SCSI ケーブルキットの場合

▶SAS ケーブルキットの場合

重要

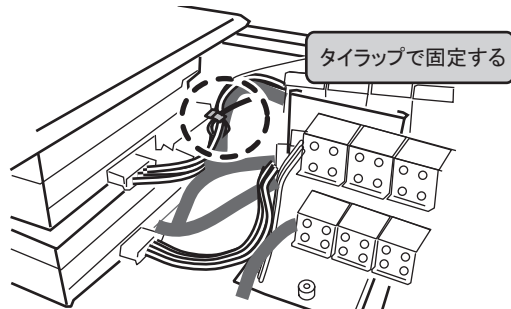
- 内蔵 LTO3 ユニット（PG-LT303/PGBLT303）を搭載する場合、SAS ケーブルキット（PG-CBLA012/PGBCBLA012）の電源ケーブルは、必ず LTO3 ユニットの電源コネクタに接続してください。電源ケーブルをケーブルキットに接続した場合は LTO3 は動作しません。

▶USB ケーブルキットの場合

8 カップリングツールは、ドライブベイ固定レールのネジ穴の位置に合わせて取り付けます。

POINT

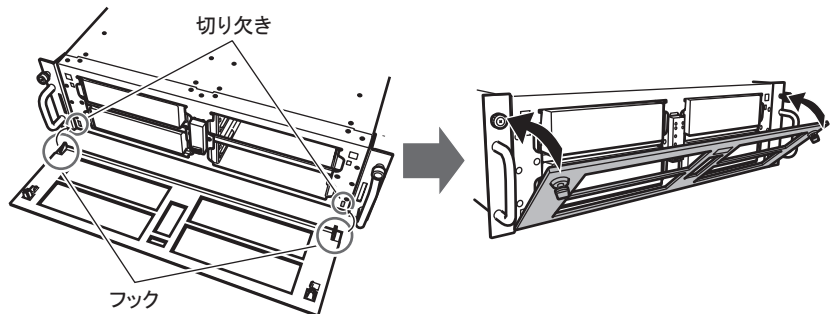
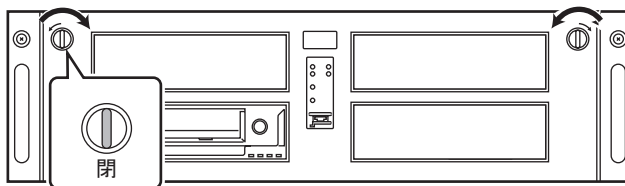
- カップリングツールは、ドライブベイによって取り付け位置が違います。
  手順 7 の図の向きでは、取り付け位置は次のとおりです。
  ・ドライブベイ 1、2 は、バックアップユニットの左側
  ・ドライブベイ 3、4 は、バックアップユニットの右側

9 ドライブベイにバックアップユニットを取り付けます。

「カチッ」と音がするまで押し込みます。

POINT

- SCSI ケーブルキットの場合は、ケーブル類をドライブベイからはみ出さないように、少し持ち上げてドライブベイに入れ込むようにしてください。

- SAS ケーブルキットをご使用の場合、ケーブル類はドライブベイからはみ出さないように入れ込むようにしてください。

重要

- SCSI ケーブルキットを使用してドライブベイ 2 にバックアップユニットを取り付ける場合、SCSI ケーブルと電源ケーブルをタイラップで固定してください。

10 フロントパネルを取り付けます。

フロントパネルのフックを、切り欠きに引っ掛けて取り付けます。

11 グロメット（2 箇所）のつまみ部を図のように縦に回してから押し込みます。

POINT

- グロメットは、「パチン」と音がなるまで押し込んでください。（少し硬いことがあります。）

12 トップカバーを取り付けます。

「2.1.2 トップカバーの取り付け」（→ P.16）

3

第 3 章

ラックへの搭載

この章では、本製品をラックに搭載する方法について説明しています。

3.1 設置場所の条件

本製品を設置するときは、次の場所は避けてください。

- 湿気やほこり、油煙の多い場所
- 通気性の悪い場所
- 火気のある場所
- 周囲温度が 10 ～ 35 ℃をはずれる場所
- 湿度が 20 ～ 80%をはずれる場所
- 電源ケーブルなどのケーブルが足に引っ掛かる場所
- テレビやスピーカーの近くなど、強い磁気が発生する場所
- 水のかかる場所
- 直射日光の当たる場所や、暖房器具の近くなど、高温になる場所
- 腐食性ガスが発生する場所
- 塩害地域
- 振動の激しい場所や傾いた状態など、不安定な場所

3.2 本製品のラックへの搭載方法

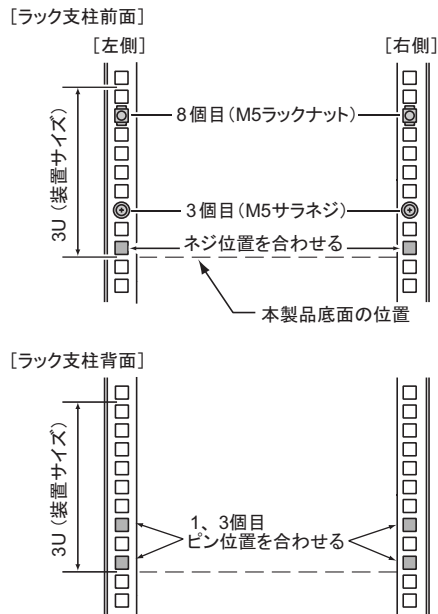
本製品のラックへの搭載方法について説明します。

重要

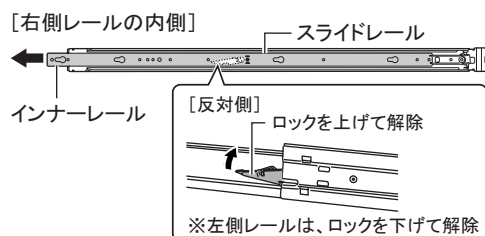
- ラックは必ず固定し、転倒防止用スタビライザを取り付けてください。ラックの設置に関する詳細は、ラックに添付のマニュアルを参照してください。
- 本製品の運搬を行う場合は、必ず 2 人以上で本体の左右側面、および底面を持ってください。

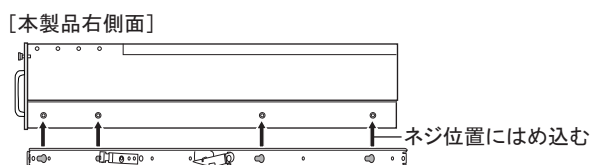
1 ラックのフロントドアとリアドアを開けます。

2 スライドレールとラックナットの取り付け位置を確認します。

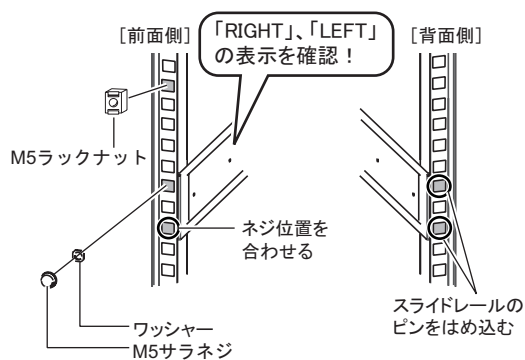
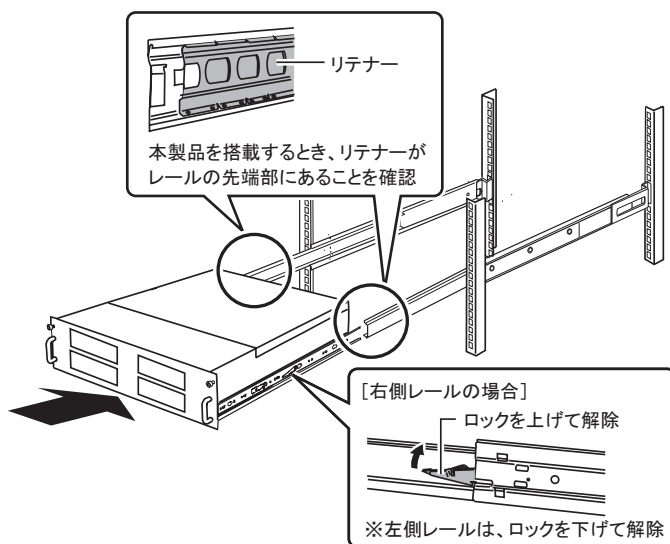
スライドレールは、前後のラック支柱に取り付けます。ラックナットは前面の支柱に取り付けます。

3 スライドレールの左右を確認します。

スライドレールには、右用と左用があります。ラック支柱前面に向かって右側には「RIGHT」、左側には「LEFT」の表示があります。

4 スライドレールからインナーレールを取り外します。

5 本製品にインナーレールを取り付けます。

1. レールの取り付け穴に本製品側面のネジ位置を合わせてはめ込みます。

2. レールを後方にスライドさせて固定します。

6 スライドレールとラックナットをラックに取り付けます。

1. スライドレール背面側のピンをラックにはめ込みます。
2. スライドレール前面側のネジ位置をラックに合わせ、ワッシャーとともに取り付けます。
3. ラックナットは、ラック支柱前面の内側からツメを上下に引っ掛けて取り付けます。

7 本製品をラックに搭載します。

1. スライドレールの溝に、本製品に取り付けたインナーレールがまっすぐに収まるように取り付けます。

重要

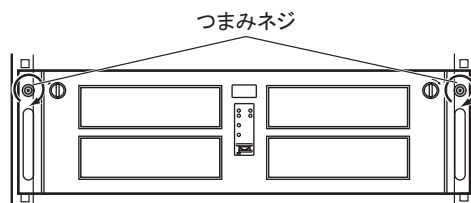
- インナーレールを取り付けるとき、リテナーに正しく取り付いていることを確認してください。
- スライドレールにインナーレールを無理に押し込まないでください。インナーレールの金具が変形し、レールが正常に動作しなくなるおそれがあります。

2. インナーレールの左右のロックを解除して（右側は上げて、左側は下げる）、本製品をゆっくりと後方にスライドさせてラックに搭載します。
3. 本製品をラックから数回出し入れして、スライドの動作に問題がないことを確認します。

注意

けが

- 本製品をスライドさせる場合や元に戻す場合は、十分注意してください。指や衣服が挟まれて、けがをするおそれがあります。

8 本製品とラックを固定します。

重要

- 本製品や周辺装置が搭載されていない場所には、ラックに添付のブランクパネルを取り付けてください。

第 4 章

ケーブルの接続

4

この章では、本製品のケーブルの接続について説明しています。

4.1 サーバ本体用ケーブルの接続

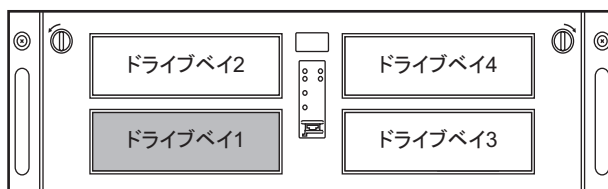
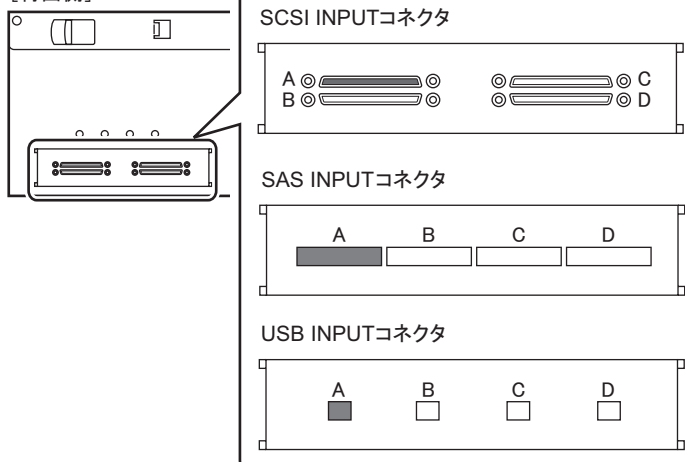
サーバ本体用 SCSI/SAS/USB ケーブルの接続方法について説明します。

1 サーバ本体の電源を切ります。

2 バックアップユニットを取り付けたドライブベイ番号に対応する INPUT コネクタを確認します。

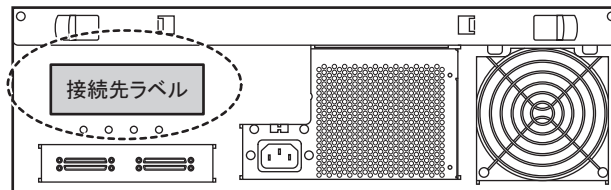
コネクタ名 connector	接続ドライブ番号 drive No
A	1
B	1,2
C	3
D	3,4

例）バックアップユニットがドライブベイ1に取り付けられている場合は、
INPUTコネクタ「A」に接続します。

重要

- デイジーチェーン接続用 SCSI ケーブルキットをご使用の場合、接続するコネクタは次のとおりです。
  - ・ドライブベイ 1、2 接続時：コネクタ「B」
  - ・ドライブベイ 3、4 接続時：コネクタ「D」

3 接続先ラベルに必要事項を記入します。

接続先ラベルは本製品背面側に貼ってあります。

［背面側］

コネクタに接続しているドライブ番号に、〇印を付けてください。

▶SCSI ケーブルキット（1 対 1 接続用）／SAS ケーブルキット／USB ケーブルキット使用の場合

ドライブベイ 1 のみ搭載している場合は、「1」に〇印を付けてください。

［ラベルの記入例］

コネクタに接続しているドライブ番号を〇でマーキングして下さい。接続ドライブ変更の場合は、×で消して、備考に新接続ドライブ番号を記述してください。
Mark the connector by “〇” the connected drive number. If change connection, describe new connected drive number in Note.

コネクタ名 connector	接続ドライブ番号 drive No.	備考（修正ドライブ番号） Note(Modified drive No.)
A	①	
B	1，2	
C	3	
D	3，4	

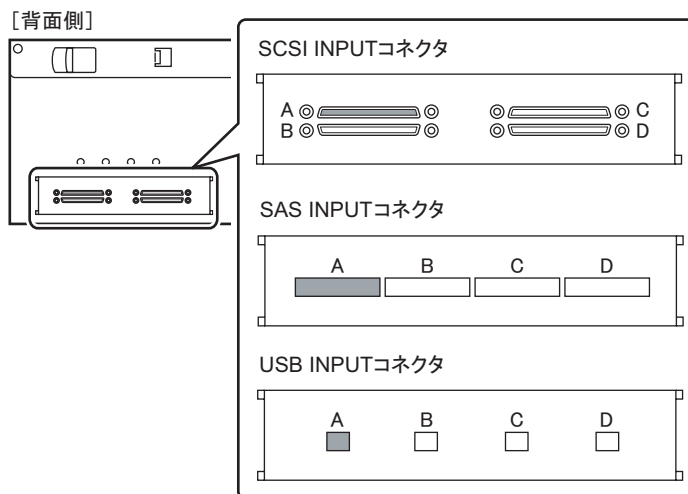
▶SCSI ケーブルキット（デイジーチェーン接続用）使用の場合

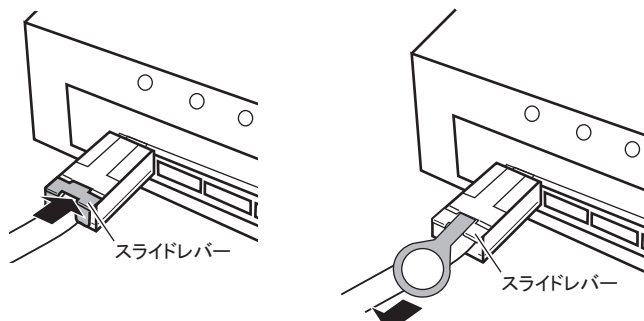
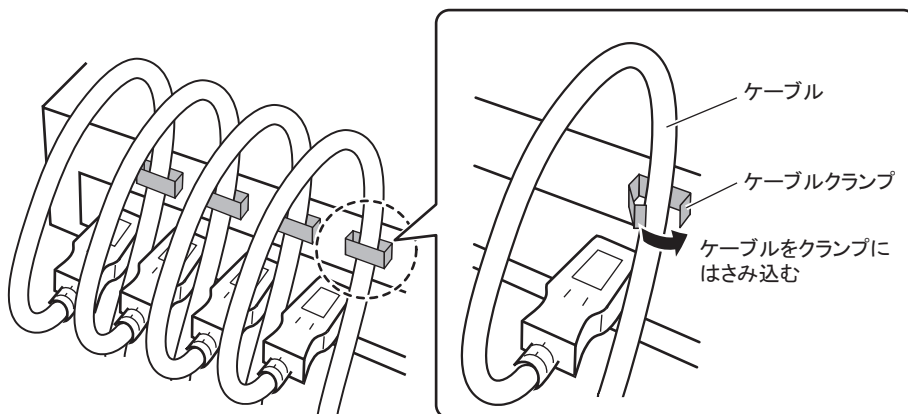
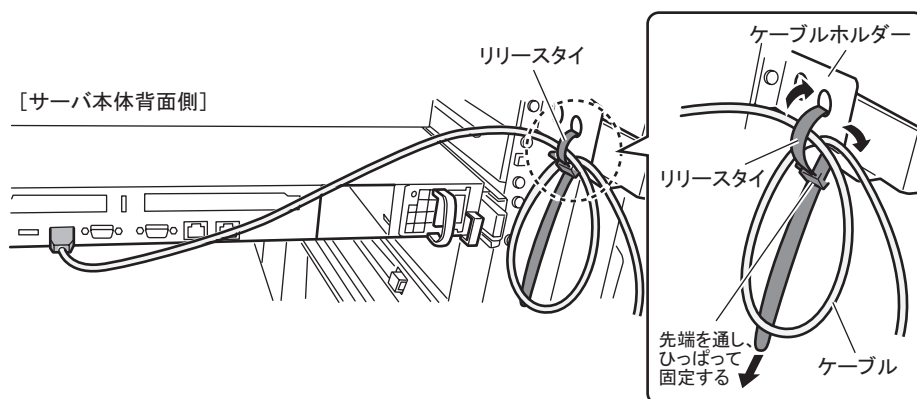
ドライブベイ 1、2 に接続している場合は、コネクタ「B」の「1,2」に〇印を付けてください。

［ラベルの記入例］

コネクタに接続しているドライブ番号を〇でマーキングして下さい。接続ドライブ変更の場合は、×で消して、備考に新接続ドライブ番号を記述してください。
Mark the connector by “〇” the connected drive number. If change connection, describe new connected drive number in Note.

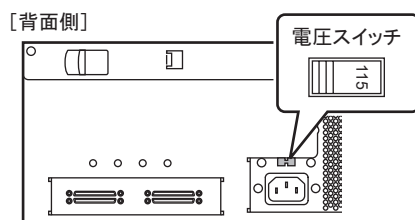
コネクタ名 connector	接続ドライブ番号 drive No.	備考（修正ドライブ番号） Note(Modified drive No.)
A	1	
B	(1，2)〇	
C	3	
D	3，4	

4 サーバ本体用ケーブル（SCSI/SAS/USB）のいずれかを、INPUT コネクタに接続します。

POINT

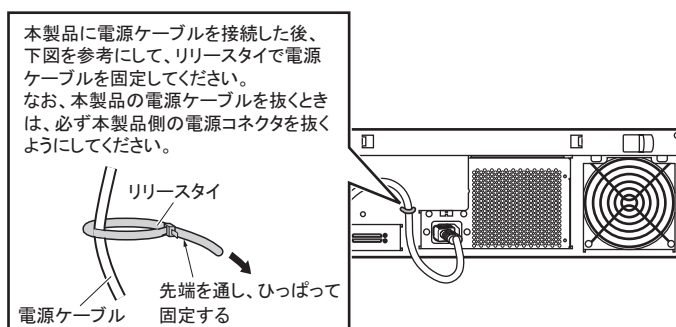
- SAS ケーブルは 2 種類あります。SAS ケーブルを取り外すときは、下図に示すようにスライドレバーを操作して（ロック解除される）、SAS ケーブルを抜いてください。

- USB ケーブルを接続する場合は、USB ケーブルに添付のケーブルクランプで本製品に固定してください。

5 USB ケーブルをご使用の場合は抜け防止のため、サーバ側の USB ケーブルを添付のリリースタイでケーブルホルダーに固定してください。

4.2 電源ケーブルの接続

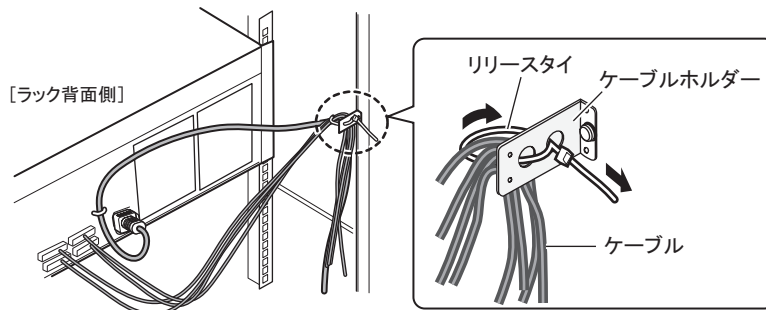
電源ケーブルの接続方法について説明します。

1 電圧スイッチが 115V に設定されていることを確認します。

電源が入ると、前面の Power LED が点灯します。
下図は、SCSI I/O モジュールをご使用の場合の例です。

2 電源ケーブルを電源コネクタに接続します。

重 要

- 本製品をラックから引き出して作業することを考慮し、余裕を持たせた配線を行ってください。また、接続したケーブル類は、抜け落ちることを防止するため、本製品に添付のリリースタイで固定してください。

- 周辺装置を接続した後、ラックに添付のケーブルホルダーに、ケーブルをまとめてリリースタイで固定します。
  このフォーミング処理により、ラックに複数のサーバが搭載されている場合でも、ケーブルが見分けやすくなります。

付録

本製品におけるトラブルシューティングと仕様
について説明しています。

A　トラブルシューティング

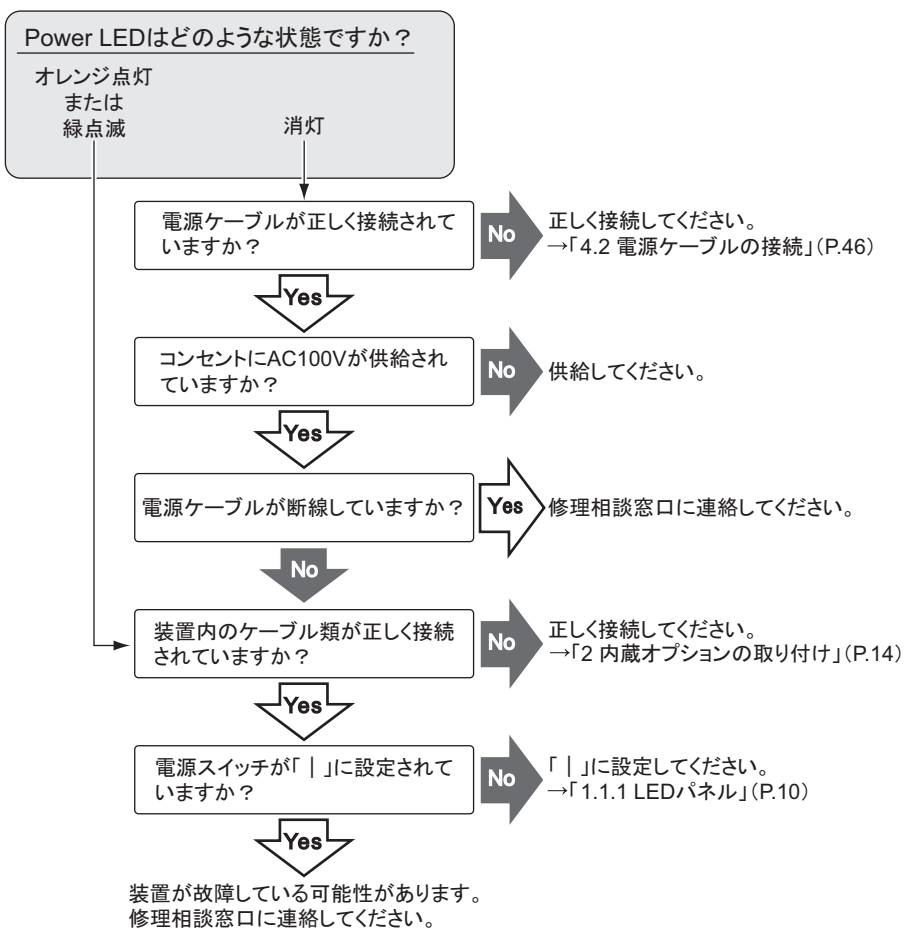
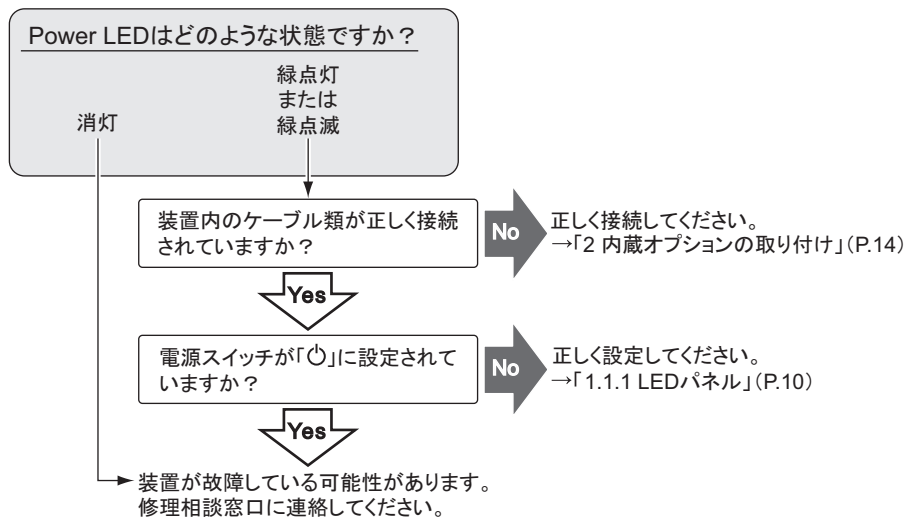
本製品を使用してみて、正常に動作しない場合の対処方法について説明します。
対処方法に従っても正常に動作しない場合は、修理相談窓口にお問い合わせください（「A.3 修理相談窓口に相談するときは」（→ P.55））。

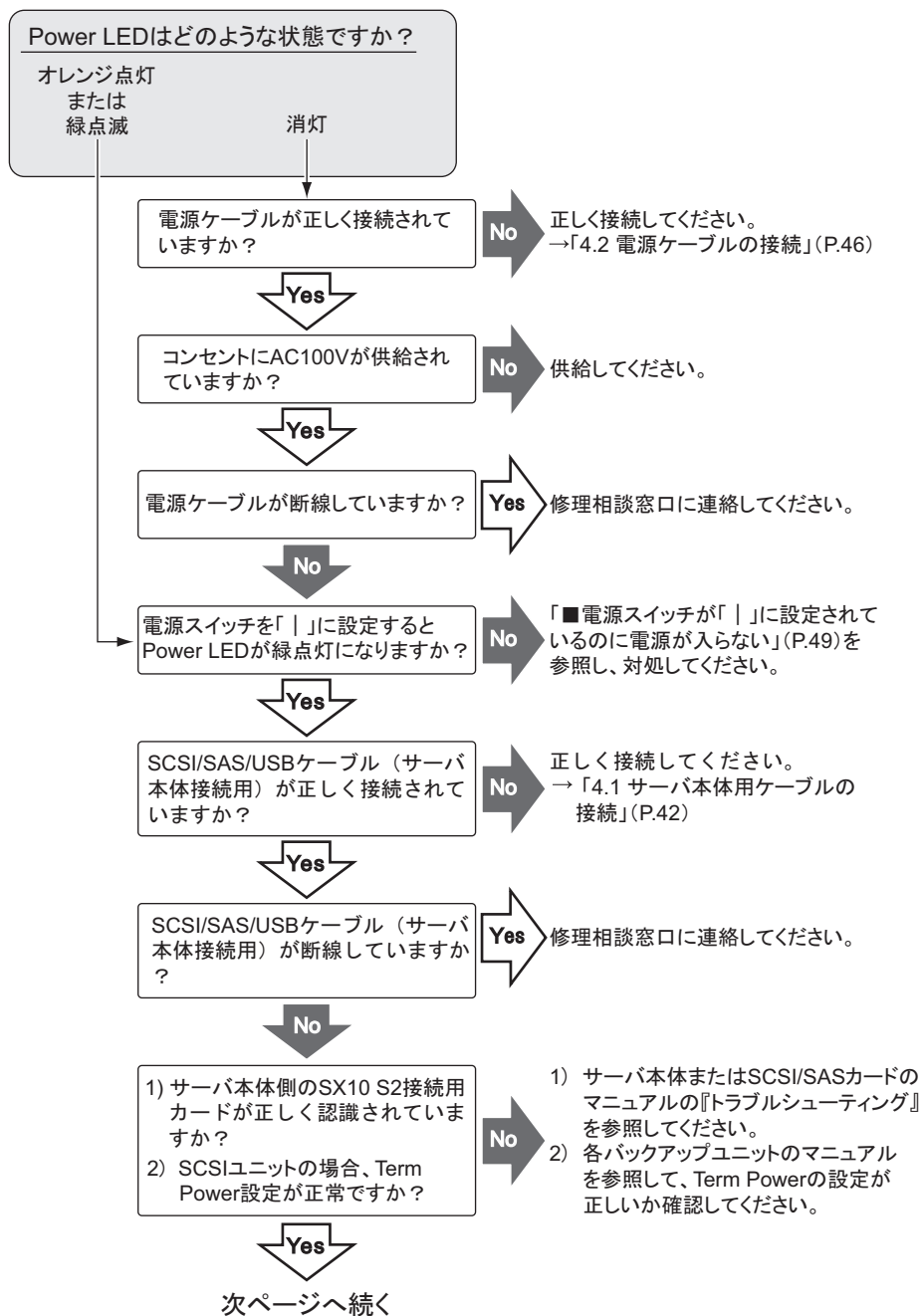
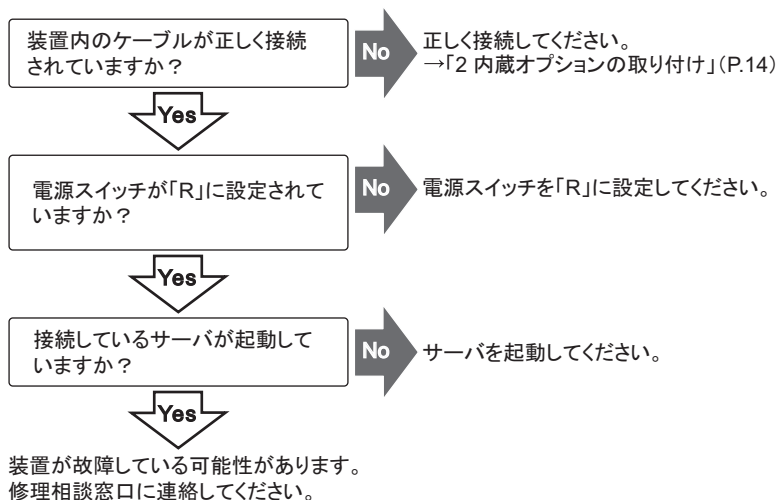
A.1　Error LED 表示によるトラブルシューティング

Error LED の表示内容と対処方法について説明します。

LED 表示	状態	対処方法
点灯（オレンジ）	温度の異常値を検出	本製品設置場所の環境温度が適切（10 ～ 35 ℃）であるか確認してください。 適切である場合、装置の故障が考えられます。修理相談窓口に連絡してください。
点滅（オレンジ）：速（1 秒間隔） 点滅（オレンジ）：遅（2 秒間隔）	電圧スイッチの設定違い、またはファンエラーを検出	電圧スイッチの設定を確認してください。電圧スイッチの設定が違っている場合は、電源ケーブルを外してから、電圧スイッチを正しく設定してください。 「4.2 電源ケーブルの接続」（→ P.46） その後も LED が点滅する場合は、装置の故障が考えられます。修理相談窓口に連絡してください。

A.2　Power LED 表示によるトラブルシューティング

■ 電源スイッチが「｜」に設定されているのに電源が入らない（Power LED が緑点灯にならない）

■ 電源スイッチが「⏻」に設定されているのに電源が切れない（Power LED がオレンジ点灯にならない）

■ 電源スイッチが「R」設定時で電源が入らない（Power LED が緑点灯にならない）

装置が故障している可能性があります。
修理相談窓口に連絡してください。

■ 電源スイッチが「R」設定時で電源が切れない（Power LED が緑点滅にならない）

装置が故障している可能性があります。
修理相談窓口に連絡してください。

■ バックアップユニットの電源が入らない

Power LEDはどのような状態ですか？

- 緑点灯 → 対象のドライブベイのDrive Power LEDが緑点灯していますか？
- 消灯／オレンジ点灯／緑点滅 → 電源スイッチの設定に応じて、以下を参照してください。
  - ・「■電源スイッチが「｜」に設定されているのに電源が入らない」（P.49）
  - ・「■電源スイッチが「R」設定時で電源が入らない」（P.51）

対象のドライブベイのDrive Power LEDが緑点灯していますか？

- Yes → 装置内のI/Oモジュールとドライブの間の電源ケーブルが正しく接続されていますか？ へ
- No → 電源スイッチを「｜」に設定すると、ドライブベイのDrive Power LEDが緑点灯しますか？

電源スイッチを「｜」に設定すると、ドライブベイのDrive Power LEDが緑点灯しますか？

- No → 装置が故障している可能性があります。修理相談窓口に連絡してください。
- Yes → 「■電源スイッチが「R」設定時で電源が入らない」（P.51）の「SCSI/SAS/USBケーブル（サーバ本体接続用）が正しく接続されていますか？」以降を確認

装置内のI/Oモジュールとドライブの間の電源ケーブルが正しく接続されていますか？

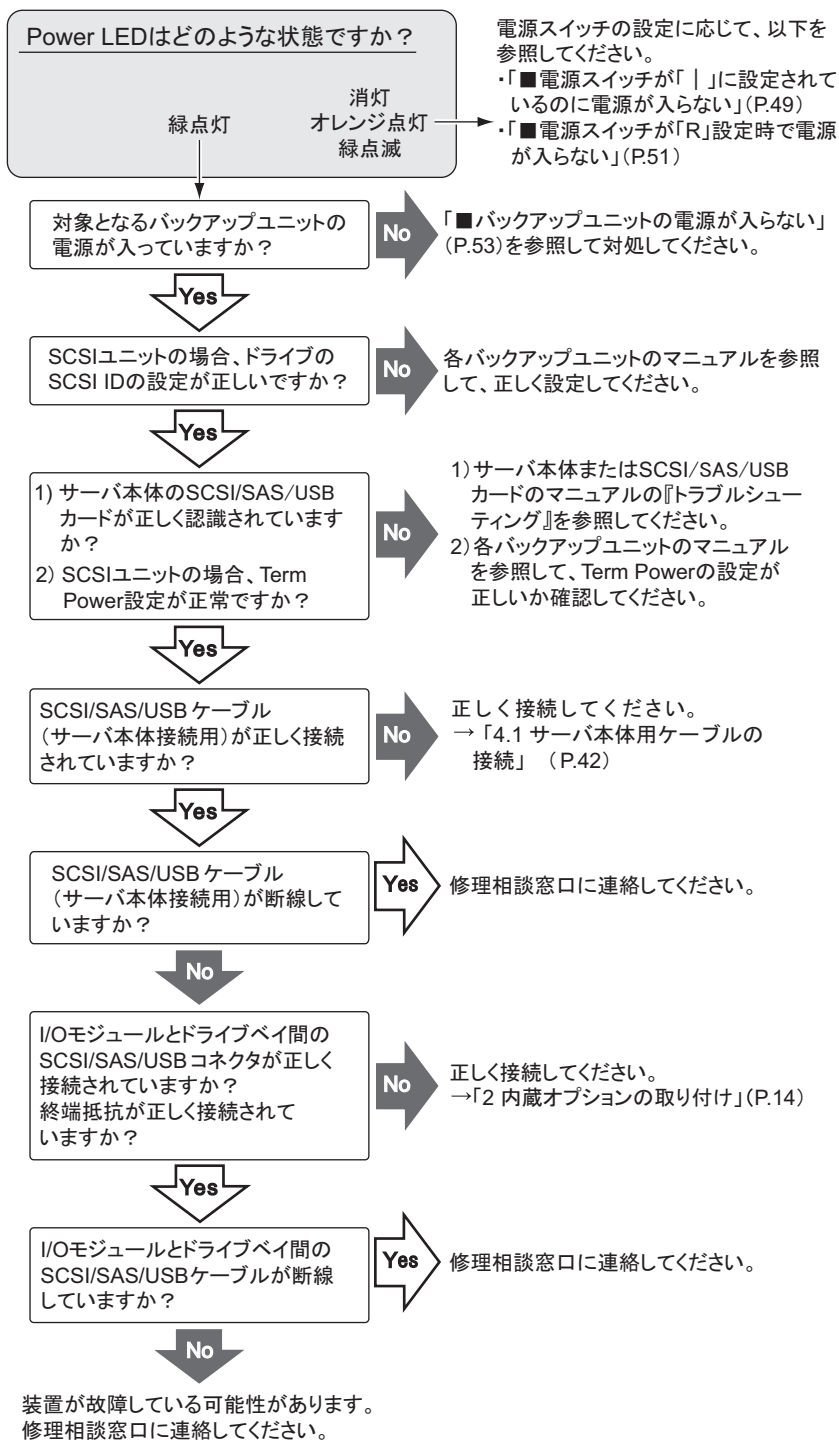
- No → 正しく接続してください。
  - →「2.3.3 ケーブルキットの取り付け手順」（P.22）
  - →「2.4.2 バックアップユニットの取り付け手順」（P.28）
- Yes → 装置内のI/Oモジュールとドライブの間の電源ケーブルが断線していますか？

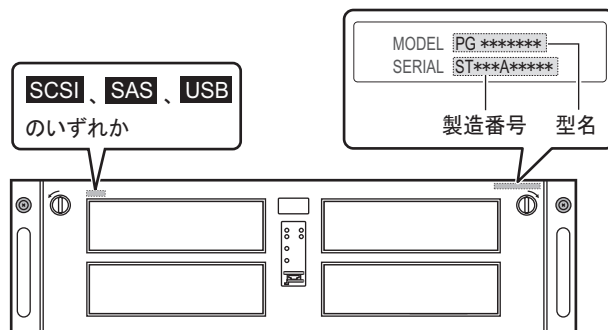
装置内のI/Oモジュールとドライブの間の電源ケーブルが断線していますか？

- Yes → 修理相談窓口に連絡してください。
- No → 装置が故障している可能性があります。修理相談窓口に連絡してください。

■ バックアップユニットの電源が切れない

■ バックアップユニットがサーバ本体から認識できない

装置が故障している可能性があります。
修理相談窓口に連絡してください。

A.3　修理相談窓口に相談するときは

修理相談窓口にご連絡いただく前に、事前に次の内容について確認しておいてください。
修理相談窓口の連絡先などは、保証書に記載されています。

B　仕様

ここでは、本製品の仕様について説明します。

項目	仕様
品名	PRIMERGY SX10 S2 バックアップキャビネット
型名	PG-R2BC1
5 インチベイ	4 ベイ
電源ユニット	標準 1 台
電源制御モード	サーバ連動／ AC 給電のうち、どちらか 1 つを選択
SCSI インターフェース （SCSI 用 I/O モジュール使用の場合）	SE/LVD SCSI（最大 160MB/s）
SAS インターフェース （SAS 用 I/O モジュール使用の場合）	SAS/SATA（最大 3Gb/s）
USB インターフェース （USB 用 I/O モジュール使用の場合）	USB Ver.2.0
外形寸法（mm）	483（W）× 754（D）× 131.4（H）
占有ユニット数	3U
質量	23.5Kg（最大）
入力電圧／周波数	AC100V 50/60Hz
コンセント	二極接地型（標準 1 個）
消費電力	250W
保守サポート期間 (注)	5 年

注）本製品をご購入後からの期間となります。